令和 7 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	環境に配慮したまちづくり
施策No.	9	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
主管課名	生活環境課		
関係課名	企画政策課、都市計画課、農林水産課		

10年後の目指す姿	地球温暖化防止対策やごみの適正処理・減量化及び資源物の再利用が進んでいます。

施策の現状及び課題	現　状	・「地球温暖化防止魚津市役所実行計画」に基づく、地球温暖化防止対策事業を実施するとともに、「グリーン購入調達方針」に基づく、環境に配慮した物品調達等に努めています。 ・地元住民の要望を聴取しながら、市民バスや富山地方鉄道の市内路線バスの利用促進に向けた対策を実施しています。
	課　題	・地球温暖化防止対策として二酸化炭素の大幅な削減をはじめ、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、省エネルギー化や再生可能エネルギーへの転換、森林の保全や整備に市が率先して取り組まなければなりません。 ・再利用できるものがごみとして排出されたり、過剰包装などにより多くのごみが排出されているので、ごみの減量化に向けて4R活動の推進を図る必要があります。 ・不適正なごみ処理に起因する処理施設火災等の発生や、富山湾沿岸への海洋ごみ流出・不法投棄が問題となっているため、ごみを適正に分別処理するよう啓発活動を行う必要があります。

施策を進めるための役割分担	行　政	・省エネルギーの取組推進の啓発や支援を行うとともに、公共施設の省エネルギー化、創エネルギー化に率先して取り組みます。 ・4R活動（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ）が全家庭に浸透し実践されるよう、普及啓発活動を行います。 ・効率的かつ適正にごみの収集・運搬・処理を行うとともに、資源物が効率的かつ適切に回収されるよう収集・運搬体制等を整備します。 ・公共交通機関の利便性向上と利用のPRに取り組みます。
	市　民 ・ 事業所	・低炭素社会の形成に向けた生活様式や環境に配慮した行動を行います。 ・適正なごみの分別を行います。 ・積極的に鉄道やバスなど公共交通機関を利用します。 ・4R活動に取り組みます。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	温室効果ガス削減対策
	基本事業②	廃棄物の適正処理・4R活動の推進
	基本事業③	
	基本事業④	

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	9 (8)	9 (8)	11 (10)	10 (9)	9 (8)	
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	2 (1)	2 (1)	4 (3)	3 (2)	3 (2)	
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	6 (6)	
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	B. 事業費 （事務事業の事業費合計）	千円	267,172	284,351	335,834	473,850	431,844	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	10,392	16,609	58,025	156,177	104,654	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	256,780	267,742	277,809	317,673	327,190	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	16	17	19	23	21	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	6,440	5,940	6,040	6,020	5,840	
	E. 人件費 （D×1時間あたりの平均人件費）	千円	25,264	23,023	23,894	24,706	24,838	
	F. トータルコスト （B＋E）	千円	292,436	307,374	359,728	498,556	456,682	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 （定義式 ： B／人口 ）	円	6,601	7,123	8,551	12,271	11,363	
	同　上 H. 人件費 （定義式 ： E／人口 ）	円	624	577	608	640	654	
	同　上 I. トータルコスト （定義式 ： F／人口 ）	円	7,225	7,700	9,159	12,910	12,016	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口（各年度12月末時点）	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	9	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
基本事業名		①温室効果ガス削減対策	
基本事業の目的(意図)		省エネルギー意識の高揚と対策を促進し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を推進するとともに、森林の保全・整備及び公共交通の利用促進を図ります。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【地球温暖化対策実行計画推進事業】 ・「第4次地球温暖化防止魚津市役所実行計画」に基づく地球温暖化対策を実施しました。 ・「第5次地球温暖化防止魚津市役所実行計画」(R8-R12)を策定しました。 【公共交通対策事業】(再掲) ・黒部宇奈月温泉駅と魚津市内を結ぶ「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」(魚津タクシー協会運行)の運行に対する支援を行いました。 ・燃料費の高騰に苦しむ鉄道事業者2社(あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道)、市内タクシー2事業者(魚津交通、金閣自動車商会)、市内介護タクシー2事業者(介護タクシーあっぷる、介護タクシーえんらく)に対して、支援金を交付しました。 【魚津市民バス運行事業】(再掲) ・魚津市民バスの利用促進の一環として、近隣自治体とともに、「親子でおでかけ事業」を実施しました。 ・より効率的なバス運行となるよう、令和7年11月より、オンデマンド交通「チョイソコうおづ」の運行を開始しました。(上野方、松倉、坪野、中島ルートの朝夕以外の時間帯、9時から16時に運行) 【水と緑の森づくり事業】(再掲) ・人家、耕地周辺などの里山林(モウソウ竹林含む。)や小規模な風雪被害林などで、整備及び管理並びに利用について、地域の合意形成が図られている森林を対象として地域や生活に密着した里山の再生整備を実施しました。 【ゼロカーボンシティ推進事業】 ・市内の再生可能エネルギー発電施設の整備に向けた調査を実施するとともに、環境省の「重点対策加速化事業」の採択を受け、太陽光パネル設置や高効率給湯器や高効率空調機器への更新などに対する補助事業を実施しました。 ・水力発電設備設置に係る民間提案について事業者と実施に向けた協議を行うとともに、環境省とも協議を行いました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
市管理施設のCO2排出量	t-CO2	8,183	7,063	8,020	7,940	7,861	7,782	7,704	7,326
				7,258	6,988	6,968	7,106	7,037	
市民一人あたりの市民バス利用回数(市民バス利用者数)	回	3.22	2.76	3.27	3.31	3.35	3.39	3.43	3.56
				2.93	3.00	4.15	4.55	4.68	
	人	133,698	113,038	133,000	133,500	134,000	134,500	135,000	135,000
				118,421	119,101	162,050	174,923	176,665	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○	地球温暖化対策実行計画推進事業	263,000	225,535	37,465	0	B	生活環境課
2	一般会計		電気自動車等維持管理事業	545,000	517,880	27,120	0	-	生活環境課
3	一般会計	○	ゼロカーボンシティ推進事業	233,840,000	103,910,133	129,929,867	21,236,000	A	生活環境課
4	一般会計	○	公共交通対策事業(施策35①再掲)	(7,294,891)	(7,089,371)	(205,520)	(0)	B	都市計画課
5	一般会計	○	魚津市民バス運行事業(施策35②再掲)	(147,931,153)	(131,436,200)	(16,494,953)	(342,000)	B	都市計画課
6	一般会計	○	水と緑の森づくり事業(施策7①再掲)	(5,876,000)	(5,236,000)	(640,000)	(0)	B	農林水産課
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合計				234,648,000	104,653,548	129,994,452	21,236,000		

基本事業概要シート②

施策No.	9	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
基本事業名		②廃棄物の適正処理・4R活動の推進	
基本事業の目的(意図)		廃棄物の分別の徹底を図り、ごみの減量化と適正処理及び資源物の回収とリサイクルの推進に努めます。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【一般廃棄物収集運搬事業】 ・一般家庭から出されるごみ(もやせるごみ、もやせないごみ、金属粗大ごみ等)を適切に収集、処理施設への運搬を行いました。また、地区等で行われた清掃ボランティア活動により回収されたごみ等の収集、運搬を行いました。 ・不法投棄された廃棄物(一般及び産廃:投棄者が特定できない場合)を迅速、適正に処理しました。(R7:4日) ・ごみの適正分別とリサイクルの推進を図るため、魚津市LINE公式アカウントに「ごみの分別検索機能」を追加し、手軽にごみの分別が調べられる仕組みを導入しました。 【資源物収集運搬管理事業】 ・地区等の資源物ステーション及び常設資源物ステーション(市内6施設)に出された資源物を適切に収集、中間処理を行い、リサイクル事業者へ適切に引き渡しました。(資源物収集量　R7:1,750t) ・駅前常設資源物ステーションの増設工事を行い、利便性、安全性の向上を図りました。 ・令和8年4月からのプラスチック資源一括回収の実施に向けて、13地区説明会を各2回開催、チラシの全戸配布など周知・啓発に努めました。 【資源物集団回収推進事業】 ・資源物を回収し、再生資源回収事業者へ引き渡した団体に対し、引渡し量に応じて報奨金(2.5円/kg)を交付しました。(R7:延べ50団体162t)	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
市民一人1日あたりのごみ排出量	g	847.8	829.3	831	823	814	806	798	759
				827.0	817.6	798.0	814	795	
資源化率	%	18.8	18.1	19.0	19.1	19.2	19.3	19.4	19.9
				18.8	19.2	19.0	18.6	19.5	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など)　-:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計		環境衛生推進事業	1,821,652	1,753,604	68,048	0	-	生活環境課
2	一般会計	○	一般廃棄物収集運搬事業	251,487,300	248,808,452	2,678,848	0	A	生活環境課
3	一般会計		し尿収集事業	27,158,000	26,942,736	215,264	0	-	生活環境課
4	一般会計		処理困難物収集運搬処理業務(不法投棄廃棄物処理事業)	1,587,300	1,587,300	0	0	-	生活環境課
5	一般会計	○	資源物集団回収推進事業	875,000	404,528	470,472	0	A	生活環境課
6	一般会計	○	資源物収集運搬管理事業	49,571,400	47,693,569	1,877,831	322,000	A	生活環境課
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合　計				332,500,652	327,190,189	5,310,463	322,000		

施策No.	9	施策名	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①温室効果ガス削減対策】
◆地球温暖化が一因と考えられる異常気象等が地球規模で発生しており、温室効果ガスのCO2排出量の削減等が国際的に求められています。
◆「グリーン購入調達方針」に基づく、グリーン購入適合品の調達は、目標値100%のところ令和6年度は60.1%令和7年度は66.6%で前年度より6.5ポイント増加しています。
◆魚津市役所急速充電器の使用件数は令和5年度以降減少しています。（R4：4,205件、R5：2,997件、R6：501件、R7：444件）※R5：更新工事4カ月
◆ゼロカーボンシティに資する補助金（国10/10）を交付し、再エネ・省エネ機器の導入を推進しました。R7事業所向け高効率空調補助は、一次・二次募集ともに一日で予算超過となり抽選により決定しました。（住宅太陽光 R5：18件、R6：22件、R7：9件 計49件）（住宅蓄電池 R5：2件、R6：9件、R7：5件 計16件）（住宅給湯器 R5：59件、R6：95件、R7：30件 計184件）（事業所太陽光 R5：1件、R6：6件 計7件）（事業所空調 R6：35件、R7：19件 計54件）（宅配ボックス導入補助 R5：64件、R6：38件 計103件 R6で終了）

【②廃棄物の適正処理・4R活動の推進】
◆「もやせるごみ」については、家庭系は減少、事業系は増加しており、全体総量としては減少しました。（家庭系　R6：6,033t→R7：5,848t）（事業系　R6：3,234t→R7：3,276t）（計　R6：9,267t→R7：9,125t）
◆「もやせないごみ」については、家庭系、事業系とも減少しており全体総量も減少しました。（家庭系　R6：1,430t→R7：1,382t）（事業系　R6：641t→R7：569t）（計　R6：2,071t→R7：1,951t）
◆排出ごみ（家庭系）1人1日あたりの量は、令和4年度以降は減少傾向にあります。（R4：550g→R5：527g→R6：526g→R7：519g）
◆資源物の全体収集量は、平成28年度から減少傾向にありましたが、令和7年に増加に転じました。（R4：1,906t→R5：1,775t→R6：1,709t→R7：1,750t）
◆資源化率（資源物収集量＊kg/（家庭ごみ＊kg＋資源物収集量＊kg））は令和7年度は0.9ポイント増加し、19.5%となりました。（R4：19.2%→R5：19.0%→R6：18.6%→R7：19.5%）
◆常設資源物ステーションは6箇所で開設しており、その収集量は近年1,400t台で推移していましたが、令和7年度は前年比2.8%増の1,484tとなりました。（R5：1,476t、R6：1,443t、R7：1,484t）
◆地区資源物ステーションは、144箇所あり、収集量は、前年度より3.5t増加し、36.6tとなりました。（R5：29.3t→R6：33.1t→R7：36.6t）
◆集団回収による資源物収集量は、一時増加傾向にありましたが、令和7年度の収集量は206tで前年度比32.6%減となっています。
◆平成23年9月から実施した「使用済み小型家電回収ステーション」の回収量については、平成30年度までは40t前後で推移していましたが、令和元年度は70t台、令和3年度までは60t台で推移し、令和4年度以降は減少傾向にありましたが、令和7年度は前年度比16.8%増の57.7tとなりました。（R4：56.9t→R5：48.8t→R6：49.4t→R7：57.7t）

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【①温室効果ガス削減対策】
＜地球温暖化対策実行計画推進事業＞
◆第4次地球温暖化防止魚津市役所実行計画に基づき地球温暖化対策を実施することで、温室効果ガスの排出を削減することができました。
＜公共交通対策事業＞（再掲）
◆地域のバス利用促進協議会とともに、各ルートの魚津駅等での電車と魚津市民バス等の接続へ配慮したダイヤづくりを行ったほか、市民バス時刻表への電車等の時刻の掲載を行うことにより、市内の公共交通を網羅したダイヤ・ルートの提供ができました。
◆より効率的なバス運行となるよう、令和7年11月より、オンデマンド交通「チョイソコうおづ」の運行を開始しました。（上野方、松倉、坪野、中島ルートの朝夕以外の時間帯、9時から16時に運行）
＜水と緑の森づくり事業＞（再掲）
◆市内10地区、2.65haの里山について整備を行うことにより、大気中の二酸化炭素吸収が促進されました。
＜ゼロカーボンシティ推進事業＞
◆公共施設への再生可能エネルギー（太陽光パネル設置）の導入に向けた調査を実施するとともに、環境省の「重点対策加速化事業」の採択を受け、太陽光パネル設置や高効率給湯器や高効率空調機器への更新などに対する補助事業を実施し、再エネの導入促進や省エネルギーの推進を図ることができました。

【②廃棄物の適正処理・4R活動の推進】
＜一般廃棄物収集運搬事業＞
◆広報等による適正分別の周知の結果、4R活動が推進され、1人1日あたりのごみ排出量の減量化につながりました。また、令和8年4月からの「リチウムイオン電池」の分別収集に向けた周知啓発を行い、適正なごみの分別につなげました。
＜資源物収集運搬管理事業＞
◆令和8年4月からのプラスチック資源一括回収の実施に向けて、13地区説明会を各2回開催、チラシの全戸配布など周知・啓発に努め、リサイクル意識の高揚を図りました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①温室効果ガス削減対策】
◆ゼロカーボンシティ達成に向け、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、各種事業を推進していきます。
◆再生可能エネルギーの導入に向けた小水力発電や太陽光発電の設置に関する調査やEV車両の導入などの事業を推進します。特に小水力発電については、引き続き民間事業者による整備等を検討していきます。
◆[デコ活宣言」や「ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、魚津市全体で、温室効果ガス削減に取り組むこととし、市民や事業者への周知・啓発に努めます。
◆「グリーン購入調達方針」に基づき環境配慮物品等の購入に努めていくとともに、とやまノーマイカーウィークなどの周知・啓発に努めます。
◆引き続き、市民バス等公共交通機関の利便性向上に向けた各種取組みに対し、支援を行い、安全・安心に利用できる環境整備に努めます。

【②廃棄物の適正処理・4R活動の推進】
◆ごみの減量化を今以上推進するためにも「食品ロス」に関して、環境保健衛生協会を中心に周知・啓発に努めます。また、家庭で余った食品などを福祉団体などに寄付する「フードドライブ」の取組を環境フェスティバルにおいて引き続き実施します。
◆分別リサイクル率の向上（資源物収集量の増）のため、常設資源物ステーション及び地区資源物ステーションにおいて、資源物の収集を行い、ペットボトルの水平リサイクルについて、市民に周知を図ります。
◆富山湾沿岸の海洋ごみの約8割が河川から流出していることから、ごみの適正処理について啓発に努めます。
◆魚津市LINE公式アカウントに追加された「ごみの分別検索機能」の一層の利用促進を図り、ごみの適正分別とリサイクルの推進を図ります。
◆令和8年4月から開始するプラスチック資源一括回収に伴う分別収集及び再商品化について、引き続き新川広域圏事務組合及び構成自治体と実施状況などを情報共有・協議しながら進めます。また、各地区の会合やふれあい講座等の際に説明し市民への周知徹底を図ります。
◆令和11年度に開始を予定する「エコぽ～と」でのビニプラ混焼化に向けて、収集体制や収集カレンダーの変更など、新川広域圏事務組合及び構成自治体と情報共有・協議しながら進めます。